

第17回 持ってて良かった！「群馬県民手帳」

デジタル化の推進により、スケジュールをスマートフォンやパソコンなどで管理する方も多くなっています。カレンダーアプリを利用すれば、メンバーと情報を共有できますし、予定を事前に通知するリマインダー機能などもとても便利です。

しかし、紙の手帳にはデジタルにない魅力があり、依然として人気です。では、紙の手帳のメリットとは一体何でしょうか。例えば、会議など、スマホを使うことが躊躇されるような場面でも、紙の手帳であれば、体裁を気にせず利用することができます。また、スケジュールや予定だけではなく、紙には思い立ったことを何でも自由に書くことができます。最近では、単なる日記や備忘録として使うだけではなく、自分のやりたいことや叶えたいことを具体的に書く「夢日記」、よかったことを書きためて前向きな気持ちになれる「ポジティブ日記」など、目的に応じた色々な使い方があるようです。

さて、書店の店頭には様々なタイプの手帳が並んでいますが、その中でも「県民手帳」をご存じでしょうか。この県民手帳は、全国の都道府県のうち、東京や大阪、北海道などを除く多くの県で発行されていますが、各県の手帳とも工夫を凝らした地域色豊かな手帳となっています。

そして、「群馬県民手帳」ですが、巷では、ぐんまちゃん手帳などとも呼ばれ、県民の皆さまのみならず、県外のぐんまちゃんファンからも愛されている隠れたベストセラーです。この群馬県民手帳は、通常の手帳機能に加えて、本県のお役立ち情報が満載となっています。

それでは、令和4年版の内容について、簡単にみてみましょう。

まず、巻頭カラー頁の県政情報を充実させました。「観光特集」では、コロナ禍でも密にならない群馬の山旅やキャンプ情報、群馬の温泉など、本県ならではの観光情報をご紹介します。また、QRコードから、詳細情報をネットでご覧いただくこともできます。「農産物特集」では、全国NO.1の野菜や、県オリジナル品種などを掲載しています。「道の駅マップ」では、各施設の最新設備状況をピクトグラムで表示し、特に、オストメイトトイレの情報も追加しました。このほか、「tsulunos」では県民の皆さまへのお知らせや群馬の魅力動画を日々発信していますし、県公式健康応援アプリ「G-WALK+」では、楽しみながらできる日々の健康づくりを推進しています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で昨年割愛した「ふるさとの歳時記」を復活しました。県内市町村の選りすぐりのイベント情報なのですが、お出かけの計画も楽しくなりそうです。

さて、各週予定表の右上の三角の点線にお気づきでしょうか。予定が終わったら三角を切り取ると、最新ページがさっと開けます。

日記編にある「上毛かるた」の絵札も人気で、やはり上州人の誇りです。

巻末の「災害に備える」では、いざという時に役立つ重要な情報が、とてもコンパクトにまとまっていますし、「群馬県の救急医療」では緊急時の連絡先があります。年齢早見表も利用頻度の高い頁です。

最後に「資料編」ですが、各種統計情報を始め、施設名簿一覧などを掲載しています。こうした様々な情報は、災害時などのネットがつながりにくい状況でも、最新情報を取得でき、心強い一冊となることでしょう。これこそが、県民手帳の強みなのです。

いざというとき役に立つ、一家に一冊、群馬県民手帳！

◆A6スリム 600円(税込)



◆A5(大型) 1,200円(税込)



これだけの情報量でこの価格とは、コスパ最強です。

サイズは、A6スリムとA5大型サイズの2種類あり、表紙はリバーシブルで4種類を楽しめる仕様となっています。

県外で暮らすご家族やご友人への贈り物、お土産としても実用的で最適です。

詳しいことは、県ホームページ、群馬県統計情報提供システムをご覧ください。県統計協会(統計課内 電話:027-226-2412)までお問い合わせください。

スケジュールをデジタルで管理している方も紙の手帳の良さを再認識していただき、デジタルと紙を併用してみませんか。コロナ禍により仕事や家事に忙殺される毎日ではありますが、県民手帳にわざわざ手書きで書き込む、昨日の自分を振り返ったり未来の自分を想像したり、あえてそうしたお時間を作ってみてはいかがでしょうか。